

議提第 4 号

米の需給調整及び米価下落に伴う稲作経営農家支援対策に関する意見書

上記の議案を別紙のとおり地方自治法第112条及び白石市議会会議規則第13条の規定により提出します。

令和 3年12月17日

提出者	白石市議会議員	<u>松野久郎</u>
賛成者	白石市議会議員	<u>佐藤秀行</u>
〃	〃	<u>大森貴之</u>
〃	〃	<u>平間知一</u>
〃	〃	<u>保科善一郎</u>
〃	〃	<u>伊藤勝美</u>

白石市議会議長 小川正人 殿

## 米の需給調整及び米価下落に伴う稲作経営農家支援対策に関する意見書

令和3年産米の概算金は、宮城県をはじめとする全国の米産地で大幅な下落となり、所得減少による稲作経営農家への支援対策が喫緊の課題となっている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、業務用米を中心に需要が落ち込んだことで全国的に持ち越し在庫が高止まりし、需給が見通しにくいこと等が主な下落要因である。

令和3年産米については、地域農業再生協議会と稲作経営農家の努力により、全国で飼料用米等への作付転換が過去最大規模の6.2～6.5万ヘクタールで行われたものの、農林水産省が令和3年11月に公表した米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針によれば、主食用米等の需給見通しにおける令和4年6月民間在庫量は、213～217万トンと見込まれ、高止まりとなっている。加えて、コロナ禍による予期せぬ需要減や今後の作柄次第では、更に需給緩和が進み、価格下落・低迷が継続する懸念がある。

現状の米需給環境が改善しないと価格回復は見通せないことから、今後も稲作経営農家及び担い手経営体の所得と経営に甚大な影響が危惧される。

については、地域農業の永続的発展に向け、稲作経営農家及び担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるよう、そして、米の需給環境改善による所得確保と経営安定が図られるよう、下記事項について、要望する。

### 記

- 1 今般のコロナ禍による予期せぬ需要減等により発生した過剰米在庫について、政府備蓄米の運用改善等を含め、あらゆる政策を総動員した市場隔離を実施すること。
- 2 令和3年産米について、過去最大規模の作付転換を行ったものの、米主産地では平年並み以上の作柄が公表されており、今後の作況及び新型コロナウイルスなど予期せぬ需要減少等により、需給が大幅に緩和した場合は、迅速かつ的確な対策を講じ、需給環境の改善を図ること。
- 3 コロナ禍における生活困窮者や学生、子ども食堂、フードバンクへの国産米提供等による消費拡大の取組に向けた支援拡充を図る等、需要促進・拡大対策を積極的に講じること。
- 4 令和3年産米価下落による収入減に対する営農支援及び営農継続意欲の減退防止を目的とし、稲作経営農業者に対し、次期作に向けた支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 3年12月17日

宮城県白石市議会議長 小川 正人

衆議院議長 細田 博之 殿  
参議院議長 山東 昭子 殿  
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿  
農林水産大臣 金子 原二郎 殿